



年末に向けて交通事故防止を呼びかけ

交通安全街頭キャンペーン

「年末の交通事故防止県民運動」に合わせて、12月1日に向台小入口交差点で街頭キャンペーンを実施しました。牛久市交通安全団体の皆さん合わせて約70人で、ドライバーや歩行者の方に啓発品を配布しながら、横断歩道での歩行者優先や反射材の着用、飲酒運転の根絶など交通ルールの遵守や交通事故防止を呼びかけました。



中小企業の活性化へ

竜ヶ崎法人会が税制改正に関する提言書を提出

11月21日、一般社団法人竜ヶ崎法人会牛久地区会(海老原賢会長)から、牛久市へ「令和8年度税制改正等に関する提言」が手渡されました。提言書では、「金利のある世界への回帰を踏まえ、金融市場の動搖を招かない財政運営」、「中小企業の活性化に資する財政運営措置」などの要望がなされました。



災害時における市民の早期支援へ

市内での被災者支援活動に関する協定

12月10日、牛久市社会福祉協議会と一般社団法人牛久青年会議所は、災害発生時における協力体制に関する協定を締結しました。市内で災害が発生した場合に牛久市社会福祉協議会が設置・運営する災害ボランティアセンターの活動に、牛久青年会議所が連携することで被災者支援が効果的かつ迅速に進むことが期待されます。牛久青年会議所の大西敦理事長は、「全国組織である青年会議所のネットワークを活かして、早期支援に寄与したい」と話しました。

叙勲・褒章

～受章おめでとうございます～

「秋の叙勲」および「秋の褒章」と、警察官や消防士などの業務に長年従事した人をたたえる「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では23人が受章されました。おめでとうございます。

令和7年 秋の叙勲

●瑞宝中綬章

石井 英也	(筑波大学名誉教授)
海老原 義彦	(筑波大学名誉教授)
田中 潔	(元 (独)森林総合研究所理事長)

●瑞宝小綬章

坂本 文雄	(元 環境省大臣官房参事官)
名取 雄三	(元 久里浜少年院長)

●瑞宝双光章

浅香 清隆	(元 公立小学校長)
小林 正夫	(現 桐生農芸学院教諭)
田中 邦夫	(元 人事院事務総局職員福祉局 補償課上席災害補償専門官)
森尻 博一	(元 中部空港事務所次長)

第45回 危険業務従事者叙勲

●瑞宝双光章

甲斐崎 茂	(元 警視庁警部)
藤戸 三男	(元 警視庁警部)
宮田 秀樹	(元 警視庁警部)

●瑞宝单光章

工藤 博司	(元 警視庁警部補)
高平 英俊	(元 東京消防庁消防司令長)
竹田 隆志	(元 警視庁警部)

令和7年 秋の褒章

●黄綬褒章

卯都木 孝 (元 株式会社東京料飲部副部長)	
横山 典弘	(現 騎手)

※掲載の許可をいただいた方のみお名前などを
掲載しています。(敬称略)





災害に備え、住民と職員で訓練実施

牛久二小で避難所運営訓練

11月30日、牛久第二小学校で避難所運営訓練が行われました。訓練の想定は地震による家屋倒壊やライフラインの寸断などの大規模災害。地域住民と市職員(避難所従事職員)が一体となり、災害時における迅速な体制構築を目指して避難所への避難、開設、被災者の受け入れ方法などの訓練を実施しました。



シルバー世代の働きやすい環境を

シルバー人材センターからの要望書

11月19日、牛久市シルバー人材センターから沼田市長に高齢者の社会参加促進のため、同センターへの支援についての要望書が提出されました。安定した運営の継続のため、事業推進支援に伴う補助金、公共からの事業発注などの確保が要望で、清水治郎理事長は「多くの支援を感謝しています。引き続きよろしくお願いします」と述べました。



車いすで街歩き

【B.LEAGUE Hope×日本生命】車いす体験DAY in 牛久

11月30日、バスケットボールB1茨城ロボッツと市は連携し、バリアフリーについて考える、車いす体験会を行いました。牛久シャトーから牛久駅周辺を車いすに乗りながら街歩きを行い、スタンプラリー形式で出題されたミッションに挑戦。参加者は「楽しみながら学べてよかった」と語りました。また、「WheeLog！」というアプリを活用し街歩きした場所のバリアフリー情報を登録するなど、市の障がい福祉向上を図ることで、車いすへの理解を深める機会となりました。



寄附

温かい善意ありがとうございます

牛久市仏教会から 牛久市共同募金委員会へ

「歳末たすけあい募金」として214,433円を寄附



関彰商事株式会社およびセキショウふれあい基金から牛久市社会福祉協議会へ

社会福祉団体への支援を目的として、25万円ずつ計50万円を寄附





家族でものづくり体験

親子ふれあい教室

12月7日、中央生涯学習センター、奥野生涯学習センターで「親子ふれあい教室」が開催されました。この活動は子どもが大人と共に楽しく主体的に活動できる機会を提供し、社会的視野の拡大を図り、さらに明るい家庭づくりに寄与することを目的とし、青少年育成市民会議が主催しています。今回はやきものづくり、そばづくり、パンづくり、宝石せっけんづくりが行われ、参加した親子は協力し合って製作を楽しみました。



見えなくてもできること

佐々木口ベルト泉選手とブラインドサッカー！

12月10日、中根小学校の「総合的な学習の時間」に、市内在住のパリパラリンピック、ブラインドサッカー日本代表の佐々木口ベルト泉選手の講演会が実施されました。今回の講演では5年生が学習している「ともに生きる」のテーマで、障害のある方への理解を深め、前向きに生きることを学びました。佐々木選手の生き立ちや経験について、クイズを交えながら楽しく考えるとともに、実際にブラインドサッカーを体験することで障害について身近に感じる貴重な機会となりました。



牛久の花「菊」新品種の名称決定

「令和7年度うしく菊まつり」新品種の菊

11月1日から15日まで開催された「令和7年度うしく菊まつり」の会場で、うしく菊花公園の会による新品種の菊が3種類発表され、名称を募集しました。

多数の応募の中から右記の名称に決定しました。



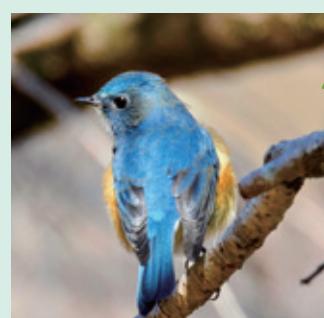
「牛久のフラミンゴ」

「牛久の白寿」

「牛久のきらめき」

本州以南の積雪のない地域に越冬のために渡来し、下草の茂ったやや暗い雑木林などで落ち葉の下のクモや小昆虫を餌としています。成熟したオスは、鮮やかな青色の背面と、わきのオレンジ色のどちら腹にかけての白色が特徴的で、その美しい羽色から「幸せの青い鳥」と呼ばっています。しかしながら、オスがきれいな青色になると、オスがきれいな青色になります。3年以上かかるといわれており、若いオスやメスは背面が褐色をしています。

牛久では里山の雑木林などで見られ、1羽ずつ縄張りを作つて生活しています。人を恐れずにすぐ近くまで寄つてくることが多いため、一度見つければ比較的観察しやすい野鳥です。



ルリビタキ (瑠璃鶲)

スズメ目ツグミ科



みんな大好き！おいしい給食 市内小・中・義務教育学校で「牛久の日」・「和食の日」

◆「牛久の日給食」

10月24日、岡田小学校では「牛久の日給食」として牛久市の特産物が使われた給食が提供されました。この日のメニューはごはん、牛乳、豚肉とごぼうのコチュジャン炒め、牛久野菜の塩こうじスープ、いもまん！。給食を通じて児童たちが地元で採れるおいしい野菜やお肉を作ってくれている方々に感謝する良い機会となりました。



◆「和食の日給食」

11月24日の「和食の日」にちなみ、21日に学校給食では「和食の日給食」が行われました。おくの義務教育学校では同日に生産者を招いた交流給食もあり、「うしく河童大根」がたっぷり使われた味噌汁や、いわしのかば焼き、きんぴらなどの和食献立をみんなで食し、和食のおいしさを楽しみました。



給食で大人気の「いもまん」を手作り！

うしく土曜カッパ塾でいもまん作り

11月29日、土曜カッパ塾の講座、「いもまん作り」が行われました。給食で大人気の「いもまん」を自分で作れる講座で、5人一組になり、生地作りや餡作りなどを分担してみんなで作り上げました。参加した児童は「給食のいもまんもおいしいけれど、今日のいもまんは手作りだからとってもおいしかったです」と話しました。



にんじんの白和え

毎月19日は食育の日 たくさんの野菜を食べて、健やかな1年に

問 健康づくり推進課

(保健センター内) ☎ 内線1744



材料 (4人分)

にんじん 250g
インゲン 80g
絹ごし豆腐 150g

1人分180Kcal 塩分0.7g

A ねりごま(白) ... 大さじ4
砂糖 大さじ2
しょうゆ 小さじ1
塩 小さじ1/4

作り方

- ①にんじんは皮をむき、4cm程度の短冊切りにする。
- ②鍋でにんじん、インゲンを茹でる。茹でたインゲンは、斜め薄切りにする。
- ③絹ごし豆腐は、キッチンペーパー2枚で包んで皿に乗せ、電子レンジ500Wで1分半加熱した後、新たなキッチンペーパーで表面の水分をふき取る。
- ④ボウルにAと③を入れ、よく混ぜて和え衣を作る。そこに、にんじんとインゲンを入れ、軽く和える。
- ⑤器に盛り付けて出来上がり。

このレシピは「食と健康の応援団」ヘルスマイト（食生活改善推進員）が作成しました。



豆腐をキッチンペーパーで包んでレンジ加熱することで、短時間で簡単に水切りができます。加熱後は熱いので、レンジから取り出す際には、火傷に注意してください。

FMうしくうれしく放送(周波数85.4MHz)で、平日午前9時30分から「USHIKU野菜オーケストラ」レシピを放送しています！



現代アートに触れる 第30回記念 うしく現代美術展

11月16日から30日に「うしく現代美術展」が開催されました。今年は同展が始まってから30年目を迎えたことを記念し、中央生涯学習センターでの本展のほか、牛久シャトーで「森の小さな傑作展」と題した作品の展示が行われ、彫刻や絵画、書などの多彩な作品が並びました。牛久シャトーでは屋外にも作品が展示され、来場者は散策しながら歴史的建造物と美術作品の鑑賞を楽しみました。

また、会期中にはテンペラ画を体験できるワークショップや、牛久市中学生混声合唱団とうしく音楽家協会の演奏と、絵画を楽しむ「芸術の夕べ」などが開催され、たくさんの方が芸術を堪能した機会となりました。

1会場の中央生涯学習センターに施されたイルミネーション

2・3牛久シャトー・オエノンミュージアムでの小作品展示

4ワークショップの様子

5市内小学校の児童を対象に行われた芸術鑑賞会で、作家の解説に聞き入る子どもたち

6「芸術の夕べ」では展示会場で音楽と美術を同時に鑑賞



交通安全教化員さんありがとう！

交通安全教化員に感謝の気持ちを

交通安全教化員は市内の保育園や幼稚園などを回り「交通安全」や「防犯」について、子どもたちにも分かりやすいよう教える活動をしています。11月19日には、牛久幼稚園の子どもたちが市役所を訪問。教化員へ日ごろの感謝を込めて「いつもありがとう！」の言葉と、手作りの花束を贈りました。



牛久市市制施行40周年記念事業を行います

牛久市は、令和8年6月1日に、市制施行40周年を迎えます。これを記念し、さまざまな企画を実施します。

市制施行40周年をみんなで盛り上げるため、市民の皆さんのご協力、ご参加をお待ちしています。

市制施行40周年記念事業一覧(市主催)

●市制施行40周年記念式典 6月ごろ開催

これまでの牛久市の歩みを振り返りながら、これから市政発展に向けて記念式典を挙行します。

●開運！なんでも鑑定団 収録:5月10日(日)

出張！なんでも鑑定団in牛久
あなたのお宝・観覧を募集中。
ぜひご応募ください。



●NHKのど自慢(NHK主催) 3月ごろ開催

詳細は広報うしく1月15日号などでお知らせ予定です。

●フォト&エピソードコンテスト 「うしくとわたし」

皆さんの牛久市への思いを写真とエピソードでご応募ください。

募集中



●「かっぱのキューチャン」新デザイン

市公式キャラクターとなった「かっぱのキューチャン」の新デザインを募集しています。

募集中



●万博中央駅看板の復活!! 展示中

旧国鉄臨時駅「万博中央駅」の駅名看板を「ひたち野うしく駅」に設置しました。

40周年記念ロゴマークが
利用できます！



市制40周年をお祝いするロゴマークができました。どなたでもご利用できます。詳しくは市ホームページをご覧ください。皆さんにも40周年をPRしていただき、市全体でお祝いしましょう。

